

夏ですね、蚊の季節です。
～蚊に刺されないために～

○こんな所から蚊は発生する!!

暖かくなるにつれて、様々な生き物が活発になっていきます。その中にはそう、蚊もいます。気がつけば蚊に刺されている、なんてことは多くの人が経験していると思います。では蚊はどんな所から飛んできているのでしょうか。

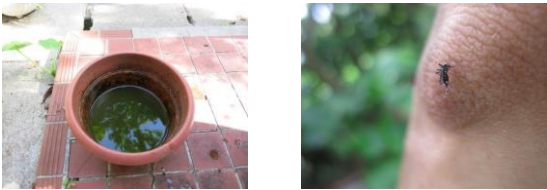


図1：蚊が発生しやすいような水溜まりの例（左）
図2：人から吸血しているヒトスジシマカ（右）

皆さんがよく見かける蚊の代表格にヒトスジシマカという蚊がいます。黒と白のコントラストが目立ち、背中にひと筋の白い線が見えるのが特徴です。彼らはちょっとした水たまりに卵を産み付けて増えていきます。家の周りに放置された植木鉢やバケツは無いでしょうか？そういう水溜まりから蚊が発生するので、もし使っていない容器等に水が溜まっているのを見かけたら水をこぼしましょう。発生源を作らないことが確実な対策です。

○茂みに行くときには虫除け（忌避剤）を!!

暑い夏、外でたくさん遊んで汗をかいて、木陰で休むのは本当に気持ちが良いですね。でもちょっと待って!!その茂みには蚊が待ち伏せしているのかも知れません!!せっかく気持ちよく休憩していたのに、蚊に刺されたら痒くて台無し。そうならないために役に立つ道具があります。そう、虫除け効果のある忌避剤と呼ばれる物です。



ホームセンターや薬局、スーパー等様々な所で販売されている忌避剤、それらをきちんと使えば蚊が寄ってこなくて快適に過ごすことができます。



図3：忌避剤の一例

※商品によっては、使用者の年齢によって使用頻度に制限があるものもありますので、説明文をきちんと読んで、正しく使いましょう。

○蚊の調査をやっています!!

暖かくなると徐々に増えてくる蚊。そんな蚊の中には、刺されたら痒いだけではなく、人に対して病気（デング熱など）をうつしてしまう可能性のある怖い蚊もごく一部います。ただし、その蚊はもともと病気を持っている訳ではありません。病気になっているヒトなどの血を吸った蚊が、別のヒトの血を吸う際に病気をうつしてしまうのです。日本に住んでいると、蚊から病気がうつると言われてもあまりびんときませんが、実は世界各国では蚊によって媒介される病気が多発しています。国際化がどんどん進む中、県内においても病気をうつしてしまう蚊が発生する可能性もゼロではありません。その危険性については蚊の生息数と人との接触度合いが重要になってきます。当研究所では、今現在どれ程の蚊が生息しているのかという調査を県内各地で行っています。もし下の図のような事を行っている職員を見かけた場合は、怪しまずに優しく見守ってください。また、その他蚊の事で気になることがあれば、お気軽にご連絡ください。



図4：蚊の調査中（怪しくないよ!!）

【衛生生物班 生物生態グループ】